

経営比較分析表（令和5年度決算）

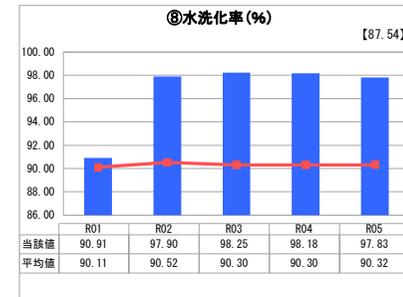
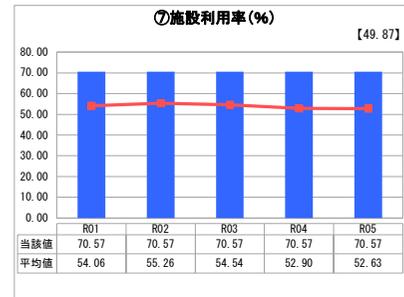
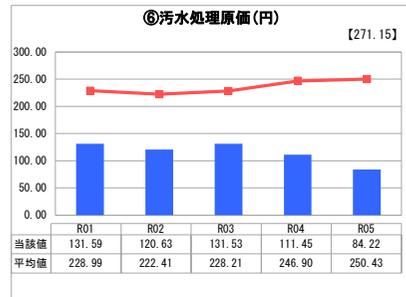
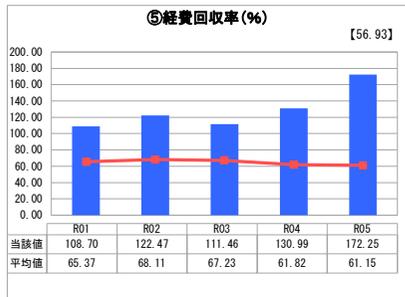
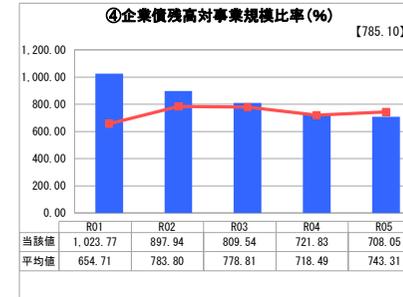
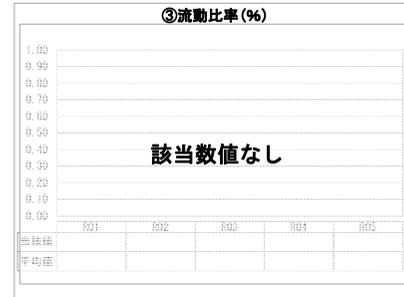
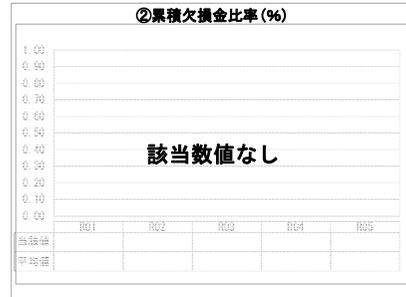
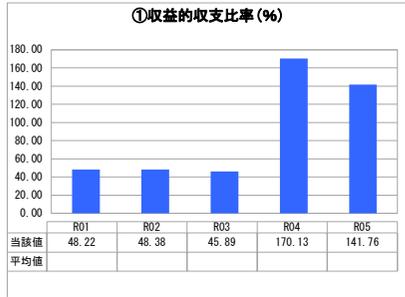
宮城県 美郷町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	41.92	100.00	2,680

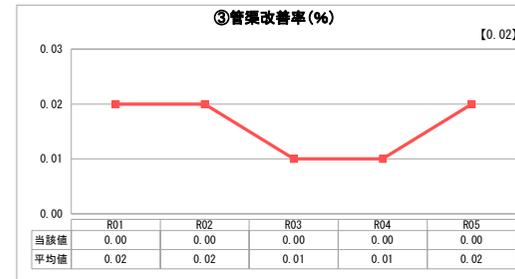
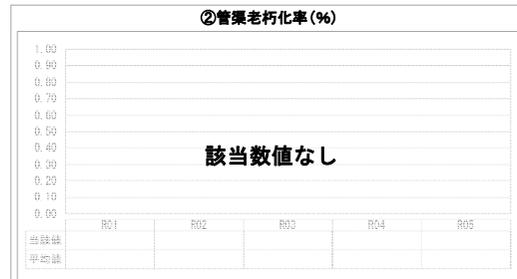
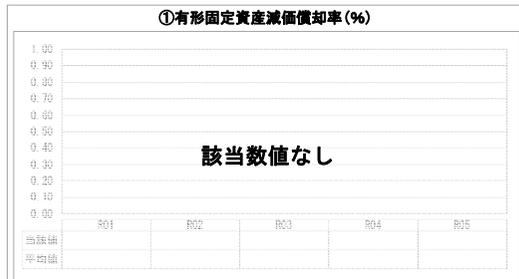
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
4,677	448.84	10.42
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,934	1.82	1,062.64

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
[] 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- 収益的収支比率は前年度と比較して低い数値となっているが、前年は台風災害対応により一般会計から繰入金を通じた収入が大きい要因となっている。令和5年度は公営企業法適用に備え、基金の取崩や、打切決算により経費が減少したことが要因となる。
- 企業債残高対事業規模比率は類似団体と比較して同程度の数値を示しており、減少傾向で推移している。適切な時期を見極めながら計画的に施設の更新を行っていく必要がある。
- 経費回収率は高い数値で推移しているが、人口減少や高齢者世帯の増加で減少することが予測される。引き続き維持管理費などの削減に取り組んでいく必要がある。
- 汚水処理原価は類似団体と比較して低い数値で推移しており、今後も有収水量の増加は見込めないことから、汚水処理費の削減に努めていかなければならない。
- 施設利用率は類似団体と比較して高い数値を示しているが、今後人口の減少は確実であり、適切な施設規模を意識しながら経営していくことが必要である。
- 水洗化率は97.83%と高止まり状態である。しばらくはこの状況が続き、徐々に100%に近づいていく見込みである。

2. 老朽化の状況について

令和6年度からの公営企業会計法適用化にあたり、今後は資産の状況を見ながら、これらに基づき施設の適切な機能保全を行い、健全な経営を行っていく必要がある。

全体総括

人口減少や高齢者世帯の増加による収入の減少は今後避けては通れない状況ではあるが、維持管理費の削減にも努める必要がある。また、老朽化した施設や管路も適切な時期に更新しなければならない。経営戦略を改定し、健全な経営を目指していく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。